

「生命のがん教育」を実施しました

(平成 27 年度 3 学期分)

平成 27 年 3 学期は 28 校に出向き、「生命のがん教育」を実施しました。

◆授業形式

- (1) 医療従事者によるがんについての講義 (20 分)
- (2) がん経験者のお話 (20 分)

◆授業風景



◎小学校 (11 校)

実施日	実施校	学年	担当講師*
1 月 23 日	木津川市立相楽小学校	6 年	京都市立病院 総合外科 医長 久保田 恵子
1 月 25 日	精華町立精北小学校	6 年	京都府健康福祉部健康対策課 医務主幹 榎村 敦詩
2 月 2 日	綾部市立東八田小学校	6 年	京都府健康福祉部健康対策課 医務主幹 榎村 敦詩
2 月 9 日	宇治田原町立田原小学校	6 年	第二岡本総合病院 副院長 清水 義博
2 月 9 日	相楽東部広域連合立 和束小学校	5 年	京都山城総合医療センター 呼吸器外科 医師 伊藤 和弘
2 月 18 日	福知山市立修齊小学校	6 年	福知山市民病院 副診療部長・外科医長 川上 定男
2 月 19 日	京田辺市立田辺小学校	6 年	京都府健康福祉部健康対策課 医務主幹 榎村 敦詩
2 月 29 日	木津川市立加茂小学校	6 年	京都第一赤十字病院 副院長・消化器内科部長 吉田 憲正
2 月 29 日	綾部市立綾部小学校	6 年	京都府中丹東保健所 所長 常盤 和明
3 月 8 日	宇治田原町立 宇治田原小学校	6 年	京都府健康福祉部健康対策課 医務主幹 榎村 敦詩
3 月 14 日	福知山市立 中六人部小学校	4,5,6 年	京都府健康福祉部健康対策課 医務主幹 榎村 敦詩

< 児童の感想 >

◇ 「がん」は早期発見することが大切だと思いました。

- ◇ 薬物防止教室でも学んだようにたばこを吸わないことが重要であると思いました。
- ◇ 「がん」の予防のために毎日の運動を少し増やしたり、お菓子やお肉を食べ過ぎないで野菜を食べたりしようと思います。
- ◇ 私は今日の授業で、病気のことをよく理解し、できるだけの予防をして、命を大切にすることがとても重要だということを学びました。
- ◇ 「がん」は体のいろいろなところでできて、その種類が100を超えるというのを知って驚きました。
- ◇ 「がん」は多くの人になる身近な病気であることを初めて知りました。正しい知識を持つことが大切だとわかりました。
- ◇ 命がとても大切なことがわかりました。
- ◇ 父がたばこを吸っているので注意していこうと思います。
- ◇ 異常な細胞が生き残ると、がん細胞になることがわかりました。
- ◇ 今日話を聞いて、生活習慣を大切にしないといけないことや、たばこを吸ってはいけないことなどがわかりました。
- ◇ 正しい知識を持つことで、「がん」への正しい対応ができるので、もっと「がん」について知りたいです。今まで支えてくれた人に感謝したいと思いました。
- ◇ 私は今まで「がん」は遺伝するものだと思っていましたが、そのようなことは少ないということがわかりました。
- ◇ がん検診があることを家族にも伝えて関心を持ってほしいです。そして家族と一緒に運動したいと思いました。

◎中学校（14校）

実施日	実施校	学年	担当講師*
1月18日	宮津市立養老中学校	全学年	京都府立医科大学附属北部医療センター 総合診療科医長、伊根診療所長 石野 秀岳
1月21日	京田辺市立田辺中学校	2年	京都府山城北保健所 所長 和田 行雄
1月27日	京都聖母学院中学校	2年	京都医療センター腫瘍内科 診療科長・外来化学療法センター長 安井 久晃
2月3日	宮津市立宮津中学校	3年	京都府立医科大学附属北部医療センター 副院長 落合 登志哉
3月1日	八幡市立男山東中学校	1年	京都府健康福祉部健康対策課 医務主幹 楳村 敦詩
3月2日	八幡市立男山第二中学校	3年	京都第二赤十字病院 消化器内科 医師 小川 智也
3月2日	京都市立北野中学校	1年	京都鞍馬口医療センター 院長 能見 伸八郎
3月3日	木津川市立山城中学校	3年	京都府山城南保健所 所長 時田 和彦
3月10日	木津川市立泉川中学校	3年	京都府山城南保健所 所長 時田 和彦
3月10日	京都市立洛水中学校	3年	済生会京都府病院 副院長 堀 義幸
3月15日	井手町立泉ヶ丘中学校	1年	医療法人 医仁会 武田総合病院 副院長 加藤 仁司
3月15日	八幡市立男山第二中学校	2年	京都民医連中央病院 化学療法科 科長 野崎 明
3月16日	福知山市立日新中学校	2年	福知山市民病院 副診療部長・外科医長 川上 定男
3月18日	八幡市立 男山第三中学校	2年	洛和会丸太町病院 院長 高橋 滋

<生徒の感想>

- ◇ 今日学んだことを家族にも話します。そして長生きしてほしいです。
- ◇ 私の身近な人で、たばこを吸っている人はいませんが、地域にはいます。だから受動喫煙には気をつけようと思います。
- ◇ 「がん」は早期発見することができれば、治るかもしれないので怖いという考えは少し減りました。また、「がん」になりにくい体をつくるためには、今を大切に生きることだとわかりました。
- ◇ 「がん」のリスクを減らすには今の中学生の生活習慣も関係があるので規則正しい生活をおくりたいと思いました。
- ◇ 私も生きている間に、できるだけ人のためになることをしようと思います。寿命というのはあって、ないようなものなので、今を大切にしたいと思いました。
- ◇ 医師の専門的な話と体験者のリアルな話は、初めて聞くこと、知ることが多く、たくさん学ぶことができました。今日の話をしっかり覚えておいて将来にも役立つようにしていきたいです。
家族に今日、学んだことを伝えて、がん検診をすすめようと思います。そしてなぜ、そうする必要があるのかも教えてあげようと思います。
- ◇ 「がん」が、どのような病気なのか、また治療法はどういったものがあるのかなど深く知ることができました。今、この時の生活習慣が関係していることを知って驚きました。もう一度、日頃の食生活、休養時間などを見直したいです。

◎高等学校（3校）

実施日	実施校	学年	担当講師*
1月15日	京都市立白河総合支援学校 東山分校	1,3年	京都府健康福祉部健康対策課 医務主幹 榎村 敦詩
1月19日	京都府立清明高等学校	全校	京都府健康福祉部健康対策課 医務主幹 榎村 敦詩
1月29日	立命館宇治高等学校	1年	京都府健康福祉部健康対策課 医務主幹 榎村 敦詩

<生徒の感想>

- ◇ 改めて「がん」という病気の恐ろしさを知りました。でも早期発見はチャンスであることもわかりました。そして命の大切さ、素晴らしさを知ることができました。
- ◇ 「がん」は早期発見、治療することで5年後の生存率も確実に高くなる。正しい知識を知っていれば予防もできることを学びました。
- ◇ 今日話を聞くまで、「がん」のことについてあまり身近に感じていませんでしたし、深く考えたこともありませんでした。でも、私達にも関係があって、今から規則正しい生活をおくることで「がん」を予防することができるなどを知りました。

※担当講師の所属・役職は授業実施当時のものです。

「生命のがん教育」の実施を検討されている学校は健康対策課がん対策係までご連絡ください。

TEL：075-414-4766 電子メール：kentai@pref.kyoto.lg.jp